



自然の素晴らしさや科学の本質を理解し、分かりやすく表現できる教員を育成。

現代では科学的な見方・考え方が必要とされ、理科について深い知識を持つ教員への期待も高まっています。

小学校全教科の指導力を備えた理科に強い小学校教員、および理科の専門知識と教材研究・開発力を持つ中学校教員の育成を目指します。自然科学と科学技術の観点から理科の本質を学びます。



海岸生物の観察(佐久島)



理科教育法でのアクティビティ活動



生物学実験での微生物の採集

4年間の学び

義務教育専攻理科専修の学びは、自然科学の専門領域である物理学、化学、生物学、地学と、教科教育学としての理科教育学の5学修領域で構成されています。1年次から2年次までは、これら5学修領域の基礎的な学問内容について体系的に学びます。特に2年次では、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験の授業を履修する中で、自然科学の探究に必要な方法論を修得します。こうした1、2年次の学びが小中学校理科教員として欠かせない教材研究・開発力を育てることになります。2年次後半までに五つの学修領域から自らが探究したい領域を決めて、3年次から研究室に属することになります。3年次以降は各学修領域の履修モデルに従って、より専門性の高い科目を学んでいきます。そして、4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業研究を行い、その成果を卒業論文としてまとめます。

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(理科)

〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(理科)

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(理科)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 理科専修4年
愛知県立西尾高等学校出身



野外学習で学ぶ楽しさを実感！
子どもたちに自然の素晴らしさ、
理科の楽しさを伝えていきたい。

理科専修の学修5領域について、高校時代に履修しなかった内容も含めて専門的に学べるのが魅力。これまでの教科書中心の学習を、実験を通して深く考察することで、新たな知見を得ることができています。おすすめは、理科専修ならではの野外実習。三重県営島での2泊3日の臨海実習では、海や森での生物の観察や実験を通じて自然の多様性を実感しました。ほかにも地層や川の観察、生物の実験など、体験を通して学ぶ機会が豊富です。この豊かな学びの経験を、子どもたちに伝えられる教員になることが目標です。

■ 2023年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等英語科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等理科教育法CIV	スポーツⅡ
2時限	初等体育科教育法A		学校体験活動Ⅰ		学校教育におけるICT活用
3時限	地学Ⅱ	道德教育の理論と方法	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	実験(生物・物理)	
4時限	キャリアデザインⅡ			実験(生物・物理)	化学Ⅱ
5時限	キャリアデザインⅡ			実験(生物・物理)	

*上記時間割で示した授業科目以外に2年次後期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。